

ポリオ（急性灰白髄炎）

ポリオとは・・・

小児マヒと呼ばれる病気です。感染の初期にはかぜのような症状ですが、感染者のなかで、約1000人～2000人に1人の割合で麻痺がおり、一部の人に後遺症として残ることがあります。

※平成24年9月から『生ポリオワクチン』の定期予防接種は中止され、単独の『不活化ポリオワクチン』が開始されました。

※ポリオ及び三種混合が完了していない場合『4種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）』に切り替えることも出来ますので各総合支所へお問い合わせください。

不活化ポリオワクチンとは・・・

ポリオ不活化ワクチンとは、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して毒性を無くしてつくったものです。体内に入ってもウイルスは増殖しないので、ポリオの発病・麻痺は起こりません。

接種時期は・・・

標準的な初回接種時期は生後3か月から12か月の間です。生後7歳6ヶ月に至るまでの間であれば、過去に生ポリオワクチンを受けていない方も、不活化ポリオワクチンの定期接種を受けていただくことが可能です。

副作用は・・・

まれに、接種部位の発赤・腫脹などの局所反応、発熱がみられますが、数日で軽快します。また、ショック・アナフィラキシー反応を起こす可能性があります。

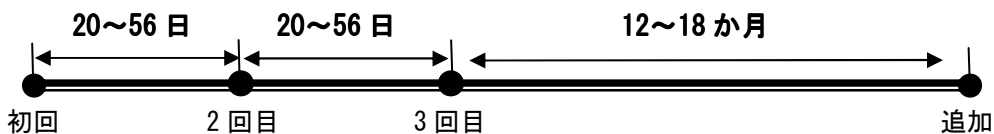
接種方法・・・

不活化ポリオワクチンは皮下接種（皮下に注射）です。医療機関での個別接種になり通年接種が可能になります。他の予防接種を受けるには、6日以上あけて下さい。

初回接種：20日以上の間隔をおいて3回接種。

追加接種：初回接種終了後標準的には12か月～18か月の間に1回接種。

合計4回接種



***** うちの子は、どんなふうに受けたらいいの？ *****

